

マレーシアに来て十二週目、幸いにして自分はマレーシアの料理が口に合ったので食の面で不自由を感じた事はないが、それでも偶には日本料理が食べたいという事で、友人にクアラルンプールのおすすめラーメンを教えてもらい食べに行くことにした。今回訪れた場所はKLセントラル駅の隣駅bangsarから車で20分程の距離にある ショッピングセンター1階の一風堂という日本のラーメンチェーン店。店内に入ると鉢巻と甚平や作務衣を着た従業員が「いらっしゃいませ」、「ありがとうございます」と片言の日本語を使いながら接客をしていた。

夜の十時近くに訪れたが店内はなかなか繁盛しており、未だ多くの食事客がいた。マレーシア人にとって寿司やすき焼きに限らずラーメンやうどんといったこちらの庶民料理も含めて日本料理は高級だというイメージを持っているため、例えチェーン店だとしてもそのまま高級料理店としての扱いをうけている。実際マレーシア人が日本料理店に行くときは何か特別な日か、大事な商談の時であるらしい。そのためか店内は黒を基調としたシックな雰囲気ですっきりと整えられており、ただのラーメンチェーン店に来たはずなのに、何故か自分が場違いであるように感じられたことが印象深い。

ラーメンの値段は税込みで30Rmくらい(900円)とこちら基準では非常に高いが、大体日本と同じか多少割高程度の値段だった。正直自分の当初の予想では日本の相場の2倍くらいを予想していたため意外に安くて驚いた。そして肝心の味だが、日本で食べた時と遜色なく、こちらの良い意味で驚かされた。

実際のところ、マレーシア人にとって日本料理はどの位人気なのか周りに聞いてみて回った所、結果としては「そこそこ人気」という感じらしい。現在マレーシア人にとって人気が高いのは、日本料理よりも西洋料理や韓国料理らしく、その理由としてマレーシア料理は揚げ料理や炒め料理、また辛い料理が多いため、これらの料理は日本料理より親しみやすいと感じるからだそうだ。

とはいえ、少し大きいショッピングモールに行けば、必ず一軒は日本料理店がある位には日本料理の地位が高いのも事実である。この理由として、根本的にマレーシアでは日本の製品は高額だが、その分の品質が保証されているという考えが人々の間に根付いているために味の親しみやすさや物珍しさ以外の安心感のようなものが日本料理の人気を支えてくれているのだろうと感じた。



店内の様子。非常に丁寧な接客が印象に残っている。